学びの基盤となる【読書】



【読書】キャラクター「おっほん」

実施期間
【１０／２６～１１／２７】

札幌らしい特色ある学校教育

おっほんシート

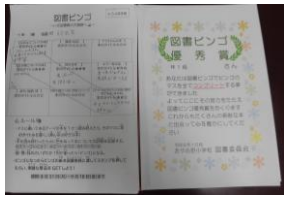
札幌市立あやめ野小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

図書委員会によるイベントの実施

図書委員による「図書ビンゴ（読んだ本のジャンルでビンゴを完成させる取組）」というイベントや、ポップ作成と展示。委員会の児童の主体的な活動を行い、多彩なジャンルの本に触れるイベントを実施することで、豊かな言葉と言語感覚を養う。





教職員による朝の読み聞かせの実施

教職員による読み聞かせを１０月に計４回実施。教職員が読み聞かせをした本に興味をもち、読んでみたいから図書館に行ってみようという意欲に繋げる。



学習センターとしての機能

「郷土資料コーナーの充実」

教科等の学習課題に応じた資料を効果的に活用し、探究的な学びを深める。教科・単元と連動した「郷土資料コーナー」の設営特設資料棚の作成。

北海道や札幌市に関する本をまとめて郷土に親しむことができるコーナーを作る。



学級単位での図書館利用と学習支援

授業中の調べ方の指導や資料選びのサポート。調べ方については、NDC について説明し、それを参考に調べたい資料を自分で探せるようにする。わかりやすい掲示をすることで、自分で資料を探しやすい空間を作る。



情報センターとしての機能

「本とタブレットの良いとこ取り！」

国語や総合などの調べ学習の際、書籍（アナログ）と ICT 端末（デジタル）を組み合わせて活用するスキルを身につけさせる。

情報の信頼性を確かめる力や、著作権・情報モラルへの意識を高める。それぞれのメリット・デメリットを理解して適切な情報活用能力を身につけられるようにする。

児童が端末を持参して図書館を利用できるように Wi-Fi 環境や学習机の整備を行う。

今後も司書ボランティアと協力し、各学年・教職員との連携を一層深め、児童一人ひとりの興味・関心や学習ニーズに応じた魅力ある図書館づくりを進めてまいります！